

令和元年8月
第397号



大湫病院(納涼祭)から7.20(土)



お
お



おもな内容

- ・オオキンケイギク駆除 … P2～P3
- ・「花のデッサン」 … P4
- ・2年目のモニタリング調査 … P5
- ・大湫病院「納涼祭」 … P6～P7



観音堂拝観 (お盆期間)

第1日目 7/13(土)

“すごいねえ～、この絵天井”

市の支援もいただき、オオキンケイギク駆除作業

キレイだけど殖やさないで！

「フィッシングパーク」附近の農免道路沿いでは、数年前から6月になると黄色い花が目立ちました。キバナコスモスのような花。キクの仲間ですから似ています。だが、この花がオオキンケイギク。環境省が「特定外来生物」と指定する生物の一つです。

この植物は「1880年代観賞用、緑化用に導入。全国的に逸出」（環境省ウェブサイト）しています。

大湫町においても、ずいぶん広がっており「神田でもあるよ」「足又のお墓にも咲いてんじゃない?」。町内の皆さんもこの花に気づいておられるようです。



この急速な繁殖に注目し、大湫町自然保全委員会が駆除作業を町内の皆さんに呼びかけました。

呼びかけに応え、6月30日（日）午前9時には、町内の有志の方が「ふれあい館」に。だがあいにくの空模様。雨粒がいつ落ちてきても不思議ではない状態。「やれるかなー」「雲は高そうだから、もつんじゃない」「集まらんかも」「やらんと思ってたけど、集まっていたから来たよ」。



開始の時刻を迎え、「途中で降るかもしれないが、それまでやりましょう」と自然保全委員会会長の三戸氏。

現地ではオオキンケイギクの花は最盛期を過ぎています。まだ花が咲いているのは、オオキンケイギクとわかるのですが、葉だけとなっているものや幼体のものはわかりづらく「どれがオオキンケイギクかわからんがねー」。「来年になって花が咲いたら、『この区画は誰がやった?よう、残っとるがねー』ということになるかも」など、ワイワイ。

「駆除は簡単にはいきません。息の長い活動となります。まずは、オオキンケイギクが特定外来生物であり、生きたまま移動させること、保管することが禁止されている植物であることを皆さんに知ってもらうことが駆

除の第一歩です」。今回の駆除作業には、瑞浪市の支援もいただきましたし、大湫公民館事業と自然保全委員会の活動として共催で取り組めました。「先ず、駆除対象の植物であることを皆さんに知ってもらうことに大きな意義がありました」と、三戸氏。



幸い、雨も大降りにならず無事終了できました。皆さん本当にご苦労様でした。

リ・アップ“ひよも”だより

防災講話

家庭でも作れる簡単非常食の作り
方見学（ポリエチレン袋使用）

8月のお茶のみ会のおさそい

日時：8月7日（水曜日）

9：30～11：00頃まで

場所：ふれあいセンター

参加費： 50円

—— お待ちしています ——

大湫町コミュニティ推進協議会

八月の俳句

あおばやみ
青葉闇校趾に在す尊徳像



山口雪子

子燕や空の広さを切り返す

天野辰代

老鶯や濃き茶を入れて山の家

盆参り寺庭の杉見上げけり



「はずかしいョー」…看板を設置！

「裏田」に犬の糞ふんが処理されず放置されています。回収処理用具を持参せずに犬の散歩をされている方がみえるようです。

町内には、犬だけでなく猫を飼われている方もみえます。どうかペットは責任と愛情をて飼ってください。

公民館ロビー展示

「花のデッサン」

釜戸小学校 4 年生の作品が大湫公民館のロビーで展示されています。ロビーを“大湫町文化祭”の時だけでなく日常的に活用していこうとする方針です。これは公民館の事業計画の一つ。

これまでも「写真」や「竹細工」・「ペン画」・「年賀状」・「手作り小物」の作品や「うちわ・絵がすり」などの収集作品の展示もおこなってきました。

今回この計画に協賛くださったのが釜戸小学校。7月に展示されたのは、釜戸小学校 4 年生（小栗（海）、宮地、棚橋、小栗（賢）、土本、



若松の皆さん) の作品。割りばしと墨を使って作られた「花のデッサン」。

花をよく見ればそれぞれの花に、一つ一つ違った美しさと輝きがあります。その花を見事に咲かせた作品となりました。

今後も、釜戸小学校の児童の皆さんや大湫町も通学校区となっている瑞浪北中学校の生徒の皆さんの作品を機会があるごとに展示をしていきます。町内の皆さま、ぜひご覧ください。

*大湫宿お休み処

8月の営業は3日(土)の大湫町夏祭りのみです。

☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願いします。TEL: 0572-63-2455

*おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

8月営業日 第2・第4土曜日

営業時間 AM9:00~AM11:00

営業場所 ふれあいセンター



2年目を迎えたモニタリング調査

2018年度から植物と蝶の「モニタリング調査」をおこなっています。この調査は、環境省が実施している壮大な調査。「モニタリングサイト1000里地調査」（略して「モニ1000里地調査」）が正式名称。

環境省は「1000カ所程度のモニタリングサイトを設置し、基礎的な環境情報の収集を長期にわたって継続して、日本の自然環境の質的・量的な劣化を早期に把握」（環境相ウェブサイトより）する事業です。この調査に大湫町自然保全委員会が取り組みを開始し、2年目。今年も折り返しの時期を迎えています。



花も間近なカタクリを観察

里地里山は「昭和30年以降、生活や農林業の近代化に伴い二次林や農地の手入れ・利用がなされなくなり、地域特有の多様な生物の生息・生育環境の質が低下しつつあります」（同上）。大湫の調査地はまさにこうした里山里山。5年間の調査で今後どのように変化していくのかをじっくり調べて行きます。

大湫の調査が新聞に取り上げられたこともあり、町外の日吉・釜戸・土岐町から自然に関心のある方の参加もいただいています。



チョット記念に。参加者一同

毎回、新しい発見があるわけではありませんが、里地は人の手が加わり保存されている地域。年数回の草刈り作業もあります。こうした、変化も含め自然の動きがどうなるかが楽しみです。

「Yさんの話を聞くのが楽しみで参加しています」。こんな楽しみとともに自然にかかわる知識を互いに高め合うことができます。

植物調査は、毎月第4日曜日（原則）。午前9時からです。集合場所は、宗昌寺の駐車場。参加は自由です。お問い合わせ先は、大湫コミ（0572-63-2360）。

植物調査は、毎月第4日曜日（原則）。午前9時からです。集合場所は、宗昌寺の駐車場。参加は自由です。お問い合わせ先は、大湫コミ（0572-63-2360）。

植物調査は、毎月第4日曜日（原則）。午前9時からです。集合場所は、宗昌寺の駐車場。参加は自由です。お問い合わせ先は、大湫コミ（0572-63-2360）。

思い出に残る納涼祭となりました

大湫病院 瀬瀬富久

7月20日（土）恒例の納涼祭を開催しました。この時期、梅雨明け前後の不安定な天候でいつもやきもきします。今年は思いもよらぬ早い台風の接近に戸惑いながらも準備を進めてきました。しかし台風もそれて、今年も地域から多数の皆様方にご来場していただき盛会に終了出来ましたこと、誠にありがとうございました。

元号が令和となり、新しい時代がスタートしました。それに相応しい納涼祭になったと思います。これもひとえに地域の皆様方のご協力の賜物だと感謝しています。私が入職した時には（昭和52年）「盆踊り・花火大会」として、長年地域の皆様方にも親しまれてきましたが、平成13年に更に交流が深められるようなイベントにできないものかと実行委員会を立ち上げ、名称を「納涼祭」としました。そこで地元大湫町から、立ち上がったばかりの中学生、高校生の太鼓のグループ「大湫中高生太鼓」を招いての演奏や模擬店、専門業者に依頼しての本格的な花火大会など、より楽しめるような企画を立てました。

途中、新病棟建設のため平成18、19年と中断しましたが、2年振りとなった平成20年の開催では、当日は東海地方に梅雨明け宣言され、朝からきびしい暑さとなったことを覚えています。しかし日が沈み、提灯に灯りがともる頃には日中の暑さも和らぎ、会場は入院者のご家族をはじめ、地域からも多数の方々に来場していただき人で溢れました。また、予定していた駐車場は直ぐに満車となり、別地に誘導するなどのハプニングもあり、うれしい悲鳴を上げたことをつい昨日のように思い出します。

私が入職した当時は入院医療中心でしたが、ご存知のように現在は地域生活へと精神科医療の流れも変わり治療、看護の対象者は児童・思春期から老年期まで、人の成長発達の様々な場面における精神・身体・社会面において支援を必要とする人達で、予防・治療・リハビリテーションなどの幅広い関わりが求められており、積極的な取り組みを行っています。そして疾病構造の変化などに加え治療やお薬、心理社会的療法、精神保健医療サービスの進展によって、早期に退院される方も増えています。しかし、現在における精神科医療看護を提供しているにもかかわらず、長期にわたり入院の必要性があったり、家族構成の変化によって退院に行き着けない患者さんが存在するのも現実で、早期退院と長期在院の二極分化ともいえる現象になっています。これは当院に限ったことではなく、今後の精神保健医療の課題であると思っています。

そうしたなかでの納涼祭は、入院者の皆様方がとりわけ楽しみにされているイベントで「納涼祭って何なの、今年の納涼祭はいつ」など、それぞれの病棟で話題になります。とりわけ、「集まろう会大湫太鼓」の演奏は好評で、メンバーのなかには「大湫中高生太鼓」で活躍して社会人となり、その後結婚して子どもが誕生。そして一家で参加していただいているなど、ほほえましい光景が見られたりしています。また近頃では大湫町だけでなく、釜戸町など町内外からも参加していただき、大湫病院納涼祭のエンターテイメントとしてすっかり定着して、入院者や病院職員もとても楽しみにしています。

今年のプログラムは、入院者やスタッフによるカラオケ大会から始まり、バサラ・盆踊りでは、瑞浪の若手踊り子チーム「MAIYA」の若さと躍動感あふれるエネルギーで元気をいただきました。そして、「集まろう会大湫太鼓」の演奏は、「しょじょ寺の狸ばやし」、「楽」と「大杉」の3曲を幼稚園児から小・中・高校生、そして若者や大人達たちなど総勢23名による心に響く、とても力強く感じる演奏でした。

そして、毎年好評をいただいている縁日での各種模擬店では、販売品目によっては早々と売れ切れてしまうコーナーなどもあつてご迷惑をおかけしました。その売上金すべては、瑞浪市社会福祉協議会を通して寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

夏の夜の、楽しいひとときの最後を花火大会で終了することが出来ました。地域の皆様方のご協力で、とても思い出に残る納涼祭となりましたことをご報告させていただきました。



太鼓演奏の写真は小栗和茂さん（神田区在住）によるものです

DNA は究極の個人情報―「生物」をもっと身近に

「DNA 鑑定で身元が分かった」。こんな記事を目にしたり耳にしたりすることが多くなりました。ではこの、DNA とは何でしょうか。

デオキシリボ核酸 (deoxyribonucleic acid) という物質の略が DNA なのです。「生物」の教科書に DNA が取り上げられようになったのは、60 年ほど前のこと。それもそのはず、DNA の構造「二重らせん」が明らかになったのは、1953 年なのですから。

この DNA でなぜ個人を特定することができるのでしょうか。

病院では診察や処置に先立って、氏名と生年月日が尋ねられます。患者を間違えないようにするためにおこなわれている、いわば 2 段階認証にも似た確認方法です。この二つが確認できれば、まず患者を取り違えることはないでしょう。でも氏名や生年月日は言い間違いや、意図的に変えることだって無いとは言えません。人の意思で変えられないもの、例えば血液型や指紋なら個人を特定する信頼性は大きいといえます。DNA も変えられないものの一つなのです。

すべての生き物は細胞からできており、細胞核内には一人一人異なる DNA があります。この DNA をつくっている物質は、リン酸・糖・4 種類の塩基 (A=アデニン・G=グアニン・C=シトシン・T=チミン)。そして、リン酸と糖の部分は共通で、塩基がことなる 4 種類の型 (4 種類のヌクレオチド) ができ、その 3 つの組み合わせで一つの暗号、いわば単語となるのです。この暗号の数や組み合わせにより (いろいろな文章ができるように)、異なる生物となり、別人となるのです。人間それぞれに異なった番号が付いているようなものです。

DNA が個体識別の重要な役割を果たす理由がここにあります。DNAこそ、究極の個人情報の塊なのです。



7月の丸森だより

7月23日まで

訪問者	町外		町内		合計	その内 (外国関係)
	大人	幼小中高	大人	幼小中高		
	314	16	104	19	453	4
					R1,4月～	3,273人
(団体等)					オープンから	24,255人

* 観音堂拝観の案内・・・117名ほど

	7/13	7/14	7/15	7/16
応募者	4名	0名	0名	0名
当日案内	25名	55名	24名	9名
合計	29名	55名	24名	9名

- ・市内公共施設へのチラシ配布を行いました、事前に応募された方は少なく、第1日目の4名だけでした。
- ・連休で大湫宿を訪れた人に対しても案内の対応をしたことで、多くの方が拝観されました。
- ・太鼓の練習を終えた子供たちも拝観に来てくれました。
- ・14日には旅人企画のツアーがあり、そのグループ(30人ほど)を案内しました。
- ・「観音堂の建物・絵天井・観音像」の見方を説明することで喜ばれました。



- * 旅人企画のツアーがバス2台(60人)・・・香川・岡山・神戸方面から(公民館で食事休憩)
- * 東濃の都市計画課関係(18人)・・・丸森の建物・山車・町並みを紹介
- * 吹田市「浜屋敷」のボランティア(6人)の方と交流

(個人等)

- * 7月に入って曇/雨の日が続き、大湫宿まで足を運ぶ人が少なくなってきたが、20・21日には中山道歩きの人が10人以上もあった。(大黒屋の予約が取りやすいことも)
- * 17宿スタンプラリーも目立つようになってきたが、一人でまとめて5,6枚も押したり、グループで地区を分担して回ったりする方もあり気になります。

(その他)

- * 7月15日(月)、丸森に東京毎日新聞が届きました。そこに丸森についての記事が載っていました。この記事に関わる出会いは、1年前、ツアーのガイドをして丸森を訪れたキャロリンさんに始まり、昼食のお世話をしていた大井宿の小椋さんへとつながります。今年4/18、偶然にもキャロリンさん・小椋さん・毎日新聞の森さん・丸森職員が出会うことになって、この記事が生まれ大湫宿が東京で取り上げられました。



青色回転灯パトロール隊

終了に当たって



青色回転灯パト

ロール隊を「もう辞めてもいいよ」と言われた瞬間、もうそ

んな歳になったのかと驚いた。

振り返ってみると、十年以上にわたり安藤さんとコンビを組み実施をしてきました。おかげさまでその間事故も無く無事に終了することができ、ありがたく思っております。

おもにスクールバスの到着時刻に合わせてパトロールを実施させていただきました。不審者や異常個所の発見はありませんでした。一見無駄のようにはみえますが、隊員の地道なパトロールが平穏な大湫町を維持していると自負をいたしております。

一番嬉しかったことはパトロール中に町民の民さんが「ご苦労様」と声を掛けていただいた時でした。やりがいを感じたものです。

平穏な大湫町においては必要が無ないように感じる人も居ると思いますが、そんなことは絶対にありません。このことが抑止力になり、より安全な町を維持していけるものと信じております。

ご苦労様ですが、今後ともおパトロール隊の活躍を祈っております。



三輪 勝彦

「地域の安全を守る」青色回転灯装備車（通称「青パト」）が、毎月2回地域をパトロールしています。きっと見かけたり、放送を聞かれたことがあると思います。

6月で「パトロール実施者証」3年の有効期間が切れ、講習を受講して頂き、7月から再びパトロールをしていただいています。

今回の更新講習実施を区切りに長い間パトロール隊として活動し、地域の安全のために活躍いただきました方々の中に、今回で「卒業」された方もいらっしゃいます。“お疲れ様でした。おかげで今まで何事もなく生活することができました”そして、“ありがとうございました”。

リ・アップできたかな「健康教室」

健康教室の流れ

- 一、脳トレ
 - ・ 都道府県当てクイズ
 - ・ 漢字パーツパズル
- 二、おなか元気教室 腸の話(腸内細菌等)
- 三、座って行う体操

腸の長さが6メートル、腸内には良い菌・悪い菌合わせて100兆もいて、⁵キロもの重さになる等つい吸い込まれてしまう筋運びで時間が短く感じ、とてもいい内容であったとの感想が多くありました。その一部を次にご紹介いたします。



- ・ ストレスが病気の原因かにも、うなづいた。
- ・ 発酵食品が腸を元気にする、大事な話だった。
- ・ 今まで内臓の病気をした事がなかった事に感謝し、これから先、今日の話を中心にさらに気をつけたい。
- ・ 昼間は、こうしてみんなと話したりできるが、夜は寂しく布団の中に入って一日に感謝して寝ている。
- ・ 先生が真剣に体操される姿を見て自分も力をもらったし、

なにもかもよかった。

・ 脳トレは、他の雑誌にも書いてあった。刺激になったし大切だと思った。またやりたい。

・ 「漢字パーツパズル」で石・ノ・小が「砂」と95歳の私でも分かって答える事ができ嬉しかった。骨密度の測定時に一瞬65歳になってしまい“65歳”と伝え、Aさんに笑われてしまった。

家に帰り、プレゼントにももらった定規をひまごに見せたら、15センチまで数えていた。一年生になったらあげる約束をした。それまで元気でいようと決めた。夕飯の時、家族とこの話に花が咲き、よても楽しい一日であった。

少しでも「リ・アップ」していただ

ける事を願い「お茶飲み会」を始めて五年、参加される方はいろいろな理由で少なくなってきましたが、今回のような気持ちで帰っていただけただ事にスタッフ一同、心より感謝します。



健康に生きるには

やはり「笑いが一番」

呼吸は二分と止められないが、食事は一日二食でも死ぬことはない。自分に合った生活習慣で生きればよいと思う。

医師の診断を重視する人が多いが、頑なに生きている人も多い。医者は健康に生きるためのアドバイザーと思えば後悔することはない。

それにしても雨後の竹の子の様に「四百四病」に合わせて医院が出来ている。そうして何処の病院も、大入満員の状況に驚くばかり。

何年来通院した病院を転々と渡り歩く人もいる。優秀と言われる医師が、高度な医療機器で検査し、「造化の神」が何万年もかけて作り上げた人体の悪いところを、大根を切る様に切り取る。昔なら助からぬ病人を生き返らせる技術は、想像を超えている。そして治療薬も日進月歩で新薬が作られている。

昔は病院に行くと言えば大事で、金がかかり、簡単には行けなかった。

保険制度が充実した現在、後期高齢者になれば一割負担で治療が受けられる。忙しくて病院に行けない人は、市販の薬で我慢している。

それにしても、病気が減少するどころか、次々に新しい病気が現れて医療制度を揺るがせている。

保険制度の充実していない貧しい国も多い。地球上には日本の様な天国もあれば、アフリカなど難民のあふれる地獄の様な暮らしをしている国もある。

近年、医師の書いた本が次々に発売されている。「病院に殺される」というショッキングな本とか、誤診の実態を書いた本もある。

西洋医学万能の時代から、手近に自生している薬草が見直されている。今から二八〇年前に、貝原益軒という学者が、「養生訓」を書いて、手作りの漢方薬を飲むことを奨めた。

孝行息子が病床の親に「朝鮮人参」を買って食べさせたという逸話を聞いたことがある。寝たきりの病人に、テレビを見せるのは気を紛らせる薬だが、NHKも民法も、高齢者の楽しむ番組を増やしてほしいものだ。

料理番組で、栄養があつて食欲をそそる料理を見せられても、どうせ食べられない訳ではない。病気を忘れる様なお笑い番組を増やしてほしいとかねがね思っている。

百歳近くまで生きた人に、「長生きの秘訣」を尋ねると、特別のことはしていないが、「くよくよするのが悪い」、「笑うのが一番」と言われる。現代人は、確かに笑うのを忘れがちである。

少子・高齢化の一段と進む我が国である。日々の暮らしの中で、笑いを忘れず、健康長寿を目指したいものである。

天野長三郎



せらおのり 2019年 8月の集まるう会

大湫町コミュニ
ティ推進協
議会
集まるう会

☆ 8月の太鼓は

ワークショップとミニコンサート

「志多ら」に学ぶ「太鼓の心と技を学ぶ学習会」

2019年8月12日(月・祝) 午前10時～

ミニコンサートは、午後1時30分からです。

申込不要、どなたでも参加できます。みなさん、どうぞ
くわいこは、後日4ラジで……

「いのちの力」志多ら 瑞浪公演があります。

2019年9月8日(日) 瑞浪市総合文化センターにて。

この時、集まるう会大湫太鼓も、ほんの4ラジ(4)出演さ
せてもらいます。是非、御来場下さい。

太鼓練習は、夏休みとします。9月からの始まりです。

☆ 8月10日(土)は、工作教室です。夏休みの楽しい行事です。

☆ 「かしわや、ホフン」は、8月10日と8月24日です。お待ちしております。



太鼓練習後に、みんな
で「観音堂」へ…!



「観音堂」は樹齢1,300
年の「神明神社の大杉」
と並んで、大湫宿のシ
ンボルだよ

大湫公民館からのお知らせ

ハッピーメッセージのご協力を！

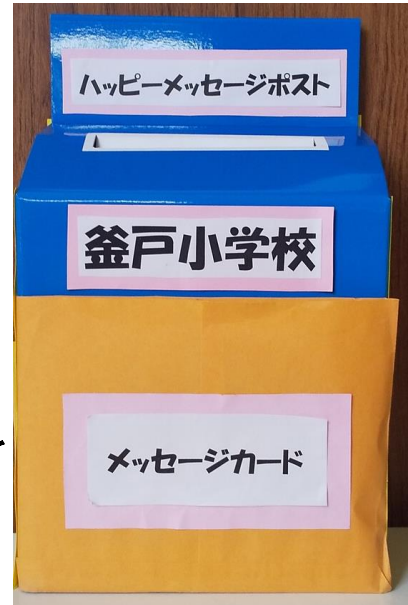
釜戸小学校では、人権感覚を育むとともに人間関係づくりをすすめるための手だてとして、『ハッピーメッセージ活動』を行ってまいります。そこで、大湫の地域の皆さまからも子ども達に向けて良いところを見つけてメッセージを書いていただけたらと思います。

メッセージカードは大湫公民館ロビーに置いてあります。

ご協力をお願いします。

あの子、気持ちいいあいさつするよ

あの生徒さん、ボランティアを頑張ってるにい～



オススメ！大湫分室の本『日本の養殖』

青木ゆり子：著

日本で独自に発展した西洋風料理「洋食」。ナポリタンやカレーなどの料理のルーツがわかります。なんと、肉じゃがもイギリス由来のものだそうです。洋食の奥深さを味わってみて下さい。

デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

6月：45便 延べ93名

皆さん、利用してください。

ご招待券あります(各2名様)

- 瑞浪市制65周年記念・令和元年度瑞浪市化石博物館企画展「化石になった木とはっぱ」
期間：9月29日まで
会場：瑞浪市化石博物館
レクチャールーム
- 企画展「戦時下のやきもの舟橋コレクション展」
期間：9月23日まで
会場：瑞浪市陶磁資料館
企画展示コーナー
- 『華めく洋食器 大倉陶園100年の歴史と文化』展
期間：11月4日まで
会場：岐阜県現代陶芸美術館



月に2回パトロールしてます！

**青色回転灯
防犯パトロール
8月の予定者**

8/月上旬：板橋仁晃
植村 準
8/下旬：棚橋 悟
奥村義二

区長日記

瑞浪市長選挙・参議院議員選挙も終わり、選挙の年も一段落、私たちの日常を充実させるべく、身近な課題の改善へ向けて、地道な取組みを積み重ねて参りたいと思います。

梅雨が例年より長引き、作物の生育にも支障が出ているようですが、雑草だけは元気がよくて恨めしく、盛夏の暑さにうだりながら草取りが続きます。熱中症に気を付けつつ励みたいと思います。

夏休みが始まり、子供たちの声が町中にも聞こえるようになりましたが、その健やかな成長を願うとき、夏祭り・寺子屋・写生大会などの行事の機会は勿論のこと、日常的なあいさつや声掛けの大切さを強く感じます。難しい説教を考えなくても、「おはよう!」「げんきか!」などちょっとした会話と笑顔が、子供たちを育んでいくのではないのでしょうか。年配者の社会貢献として大きな意味合いを感じます。お世話になりますますがよろしくお願いいたします。

また同時に、私たちを見守ってくれている先祖に対する

供養もこの季節の大きなテーマです。神社仏閣から路傍の石仏に至るまで、神仏の宿る里「大湫」を味わい、感謝の心で日々過ごしたいと思います。合掌。

区長会長 足立

- 5日 区長会・幹事会
- 7日 足又公民館整備事業
- 11日 交通安全街頭指導・リニア新幹線同盟会総会
- 12日 観光ボランティアガイド御嵩研修
- 14日 市長選挙告示
- 18日 転入対策委員会
- 20日 大湫病院「納涼祭」
- 21日 参議院選挙投票日・青少年街頭指導
- 24日 盆踊り練習会
- 25日 大湫町福祉懇談会
- 26日 大湫町OB会
- 27日 夏祭り会場整備草刈り
- 31日 盆踊り練習会

令和元年八月行事予定

日	曜	予	定
一	木	寺子屋（五回目）	
二	金	定例区長・幹事会	
三	土	大湫町夏祭り	
四	日	町内写生大会	
五	月	財産区全員会議	
七	水	リ・アップ「ひよも」	
九	金	七夕まつり（～一日まで）	
十	土	おしゃべりサロン／工作教室 かしわや営業	
一	日	*山の日	
二	月	*振替休日／志多らミニコンサート	
一	木	敬老会実行委員会	
一	日	小中PTA奉仕作業	
二	火	公民館運営委員会	
三	金	地域懇談会（市長と語る会）	
四	土	おしゃべりサロン／かしわや営業	
五	日	モニタリング調査／消防市長点検	
八	水	小中始業式	
三	金	広報委員会	

今月の資源ごみ：8/21(水)不燃ごみ：8/8(木)



編集後記

体は毎日の食事によって支えられていると言う。常にバランスの取れた食事をすることは大変だが、楽しみながら食事が出来れば結構いいかも・・・。それには、食材を知ることかもしれない。食材には、それぞれ旬があり、さまざま食べ方や調理法がある。体においしい季節の野菜をもっと知って食べてこの夏を乗り切りましょう・・・。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和元年 8月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>